

広報

おき 隠岐の島

2022

12

主な内容

- ・島根県総合防災訓練が開催
- ・ウクライナ避難者支援金



【今月の表紙】 一夜嶽牛突き大会

10月9日（日）一夜嶽牛突き大会が3年ぶりに開催されました。
引分7番、勝負2番で行われ、大関、横綱戦はともに30分を超える熱戦が繰り広げられ、多くの観客が見入りました。

10月16日（日）島根県総合防災訓練（町内各所）

町内9箇所で一斉に防災訓練を行いました。この防災訓練は、地域の防災力の向上、県民の防災意識の高揚を図ることを目的に島根県と各市町村が合同で行い、今回隠岐の島町では9年ぶりの開催でした。

近年、頻発する大雨による災害が発生した際に、冷静に対応できるよう、実践的な訓練を行いました。

＜訓練想定＞

梅雨前線停滞に伴う大雨により、隠岐の島町内各地で川の氾濫等に伴う浸水被害や土砂崩れが発生、また一部土砂崩れによる孤立地区あり。負傷者も多数発生している。

午前9時 高齢者等避難が出される
午前9時30分 全世帯に対し、避難指示が出される

＜西郷地区＞

■住民避難・避難所開設（隠岐水産高校）

- ・新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所の開設・運営【写真②】
- ・防災士の指示により、簡易の段ボールベッドや仕切りを作成【写真①】
- ・多用途支援艦「ひうち」から隠岐の島町、島根県管工事業協会の給水車に給水を行い、給水所を開設
- ・武道場に応急救護所を開設【写真③】
- ・「島根県生活協同組合連合会」、「生活協同組合しまね」が救援物資を輸送
- ・セラピードッグによる心のケアを実施
- ・巡視艇「やえざくら」により、住民が中村漁港から隠岐水産高校の避難所へ輸送



■埋没車両からの救助訓練（飯田地内）

- ・島根県警察交通機動隊による被害状況の確認
 - ・隠岐広域連合消防本部が現地合同調整所を開設し、埋没車両2台からの救助・救急活動を統制
 - ・島根県隠岐地区建設業協会が、土砂崩れ現場の土砂を取り除き、道路を通れるようにする
 - ・隠岐広域連合消防本部、島根県警察機動隊、松江市消防本部、阪神救助犬協会が埋没車両から負傷者を救助
- 【写真①、③】
- ・負傷者を松江赤十字病院DMATが応急処置し、負傷者2名を隠岐水産高校の救護所へ搬送【写真②】
 - ・負傷者の1名を海保ヘリ「みほづる」でホイスト搭載し、隠岐空港SCUへ搬送



地域防災力の向上を目指して 島根県総合防災訓練 が隠岐の島町で開催

10月15日（土）令和4年度防災安全講演会

「なぜ人は逃げ遅れるのか～地域防災力向上の効果的な取り組み～」



近年、高齢化による高齢単身世帯の増加など、自分だけで逃げるできない方も増加しています。また、全国的に近所付き合いの希薄化、町内会・自治会活動への参加率も低下しており、自分の住む地区にどういった方が住んでいるのかを知る機会が減ってきています。

東日本大震災の際に、誰が避難を指示し、支援してくれたかというアンケートによると、「家族・同居人」に次いで多いのは、「近所・友人」という結果になりました。有事に命を守るためには、自分の住んでいる地区の助けが必要となります。そのためにも、「個別避難計画*」を立てて、災害時に自分だけでなく、周りの方と身を守る行動をしなくてはなりません。

※個別避難計画…災害に備えて、「いつ」「どこに」「誰と」「どうやって」「何を
持って」避難するかを決めておくこと



講師 跡見学園女子大学 鍵屋 一氏

消防団～自らの地域は自ら守る～

各地区の消防団は地域防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わず地域に密着し、町民の安心と安全を守るという重要な役割を担っています。しかし、消防団員数は全国的に年々減少しており、隠岐の島町でも減少傾向にあります。

上記にも述べている通り、地域防災力の向上には、「地域の助け合い」が重要になります。昨今の災害が頻発する中、地域の事情等に精通し、密着した存在である消防団の重要性が今後高まります。

■消防団長にお話を伺いました



隠岐の島町消防団 団長 村田 正弘

●防災訓練を通して感じたことは？

ここ数年、新型コロナウイルスの影響で日々の訓練が出来ていなかった消防団にとって、大変貴重な経験ができ、実りある一日になりました。

●消防団の抱える課題は？

全国的に消防団員数が減ってきているように、隠岐の島町でも消防団員の確保が問題となっています。

多くの地域で自主防災組織を作っています。そういった組織にはお年寄りから小さい子どもまでが入って、いざというときに助け合うことが大切だと思います。その中心に消防団がいることが理想です。

10/15 4 島の高い教育をみんなに 隠岐水産高校 カッターレース大会

隠岐水産高校伝統の、カッターレース大会が開催されました。晴天の中、一致団結した生徒たち達が威勢の良い掛け声と共に白熱の試合を展開し、観客を沸かせました。



10/11 4 島の高い教育をみんなに 八百杉会稲刈り体験

稲刈り作業を下西保育所・磯小学校の児童たちが八百杉会を中心とした大人たちと共に行いました。鎌の扱い方に苦戦していたものの、大人の方に教わりながらあっという間の作業となりました。



10/22 14 島の豊かな自然をみんなに 竹島問題を考える会

「改めて『竹島の日』を考える」と題した、下條正勇さんの講演会が隠岐島文化会館で行われ、竹島を取り巻く現状や課題について、深く考える会となりました。



10/18 3 下での人に健康と福祉を 交通安全教育機器体験会

サンテラス駐車場で、隠岐の島警察署による交通安全機器の体験会が行われました。運転能力診断や、シートベルトの大切さを体感できる横転シミュレータの体験等が行われ、交通安全への啓発となりました。



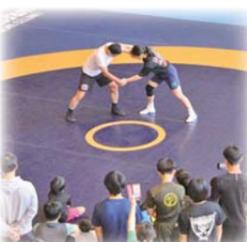
10/25 ~ 27 4 島の高い教育をみんなに 西郷南中学校 職場体験

西郷南中学校1年生が（一社）島根県隠岐地区建設業協会青年部会で職場体験学習を行いました。普段は学ぶことができない工事現場での活動を通し、生徒たちは、建設業の重要性を学びました。



10/23 4 島の高い教育をみんなに エンジョイレスリング

アテネ五輪銅メダリストである井上謙二さんを招き、県内のレスリングクラブが指導を受けました。参加した子どもは「メダリストに教えてもらい、とてもいい経験になった。」と話していました。



11/3 11 島民の絆をみんなに 五箇地区相撲大会

水若酢神社土俵で五箇地区相撲大会が行われました。規模を縮小しての大会とはなりましたが、保育園児から中学生までの取組が約130番ほど行われました。中でも中学3年生の親子相撲では、観客から大きな声援と塩が飛び交いました。



10/29 3 下での人に健康と福祉を 総合グラウンドイベント

つなGO隠岐の島「総合グラウンドイベント」が総合体育館駐車場で行なわれ、晴天の中、多くの方が足を運びました。各種屋台や健康増進コーナー・レクリエーションコーナー・VR体験など、様々なブースが用意され賑わいをみせました。中でも、野球指導では、元プロ野球選手が指導を行い、子どもたちにとって、貴重な体験となっていました。



《中村地区》

■倒壊家屋からの救助（中村漁港）

- ・中村漁港にテントなどを使用し、応急救護所を開設、傷病者の救護を実施【写真①、②】
- ・倒壊家屋からの救助活動を実施、日赤救護所に搬送
- ・巡視艇「やえざくら」により、住民を中村漁港から水産高校に輸送
- ・倒壊家屋から負傷者を県防災ヘリ「はくちょう」によりホイスト搭載し、巡視船「おき」に搬送【写真③】
- ・地区の住民により、負傷者を応急担架により日赤救護所に搬送
- ・負傷者をUH-1ヘリによりSCUに搬送



【写真①】



【写真②】



【写真③】

■その他にも、各地区で訓練が行われました

- ・各訓練会場の現地映像及びスライドを上映（隠岐島文化会館）【写真③】
- ・中国地方整備局ヘリ「おりづる」、F-2航空機による上空からの情報収集
- ・防災展示広場の設置（隠岐島文化会館駐車場）【写真②】
- ・避難所の開設（北小学校）
- ・県取締船「せいふう」により、住民を孤立地区から、西郷港に海路輸送（加茂漁港）
- ・隠岐空港消防倉庫に広域医療搬送拠点（SCU）を開設（隠岐空港）【写真①】
- ・多用途支援艦「ひうち」の入浴施設公開（西郷港）



【写真①】



【写真②】



【写真③】

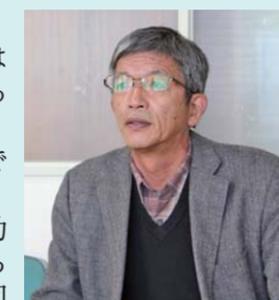
■訓練参加者の方にお話を伺いました

●今回の防災訓練で感じたことを教えてください。

9時頃の高齢者避難の放送に合わせて、北小学校へ避難をしました。今回は訓練ですが、いざ本当にそうなったときに「高齢者の方が1人で避難できるのか」という事を思いました。

特に小さな人口単位の集落ですし、普段からそれぞれ声を掛け合う事はできるだけしています。

ですが、誰がどこへ避難するか、どう声をかけていくのか、どのような助けが必要かなど、細かいことまでは決められていないので、そういうところが避難の遅れにつながるのではという事を改めて考えさせられました。今回の経験を活かし、地域の自主防災組織としてより良い体制を作っていきたいと思います。



訓練参加者
元屋区 区長
山根 勝さん

子供の日イベントでお菓子福袋のプレゼント (約120,000円)

クロトシン市社会福祉センターがポーランド及びウクライナの子供たちを対象としたイベントを開催し、その際に参加プレゼントとしてお菓子の福袋を提供しました。



市営交通機関の無料化 (約220,000円)

ウクライナ避難者限定クロトシン市内の移動に係る交通費を負担しています。これによって、買い物やそのほかの日常の用事、就職活動等がより安易になりました。

夏休みこども教室の実施 (約530,000円)

ウクライナからきた子供たちがポーランドの子供たちに溶け込めるよう計画し、1週間のこども教室を2回実施しました。料理教室や体操教室、石鹸づくり、博物館や消防署の訪問を行いました。

30人を超える参加者のうち、半分以上がウクライナの子供たちであり、この教室では、ポーランド語・ウクライナ語の通訳者が同行しました。



～隠岐水産高校「離島留学」学生寮建設プロジェクト～

隠岐の島町では令和6年度完成予定の隠岐水産高校「離島留学」学生寮建設において、島外からの入学希望者を1人でも多く受け入れる体制を整備し、学習意欲のある生徒の思いを優先すると共に、高校魅力化と関係人口の創出による地域全体の活性化を目的として、ふるさと納税による*ガバメントクラウドファンディングを令和5年1月12日まで実施しています。

是非、隠岐の島町外のご親類・ご友人の方々へ本プロジェクトをお知らせ下さい。

【目標金額】5,000万円

【申込方法】下記、QRコード又は問い合わせ先へ

【問い合わせ先】隠岐の島町役場地域振興課

政策企画係 TEL: 08512-2-8570



*ガバメントクラウドファンディングとは

自治体の課題解決のためふるさと納税の使い道を具体化して、共感した方から寄附を賜る仕組み。

ウクライナ避難者支援募金 活用報告



16 平和と公正を
すべての人に



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



総募金額
4,257,012円

居住環境の整備 (約304,000円)

ウクライナ侵攻後、避難をしてきた住居の方に対し、空いている市営住宅を無料で提供しました。避難された方が住みやすい住環境にするため、水道の修理、風除室の断熱、玄関ドアの修理が必要となり、募金から支出されました。これによって、厳しい寒さが予想されるポーランドの冬でも安心して暮らせるようになりました。



食材・衛生用品のご提供 (約1,220,000円)

クロトシン市内の社会福祉センター窓口にて、ウクライナ避難者が食材や衛生用品などの生活用品を受け取れるようにしています。



我が町と友好都市提携を結んでおりますポーランド共和国クロトシン市におきまして、ウクライナからの避難者を受け入れ、人道支援が行われております。そこで隠岐の島町としまして、友好都市を支援する活動として募金を集めさせていただきました。現在、町民の皆さまから集まった支援募金がポーランド共和国クロトシン市に避難されているウクライナの方のために活用されています。2022年8月25日の時点で、クロトシン市への避難者数はおよそ1,000人おられます。戦争が長期化すると、今後も激戦が続いている地域からの避難者が増加していくことが予測されます。一部ではありますが、活用した内容をご紹介します。



隠岐の島町教育委員会事務局
電話22206 (代表)

第5回 多世代対話型交流 学習事業 県立学校生徒× 大人『つながらあや』

10月23日(日) ふれあいセン
ター2階で、県立学校(隠岐高
校・隠岐水産高校・隠岐養護学
校)の生徒13年生10名と、地
域の大人20名との1対1の対話
を行う、多世代対話型交流学習事業
『つながらあや』を実施しました。

まず、緊張気味で集まった生徒
たちは、対話の種になる人生グラ
フをとて真剣に作成しました。
隣の部屋では、大人の皆さんも同
じく緊張気味な表情でこれから始
まる生徒との対話に向けての
ウォーミングアップを行いました
た。自己紹介を兼ねたゲームで大
人の方々は、すぐに笑い声とにぎ
やかなテンションになっていきま
した。熱いテンションの大人たち



第132回島根県同和教 育推進協議会連合会隠岐 ブロック研究会開催



9月24日(土)に隠岐島文化会
館で、ADHD(注意欠陥多動性
障がい)を理解する研究会を開
催しました。

研究会前半では、講師に町内
在住で、ADHD当事者の漫画家
あーさ氏をお招きし、「ADHD
脳で人生楽しんでます！」をテー
マに講演をいただきました。

講師の人生を振り返り、成績が
伸び悩んだ学生時代のことや、社
会人になってから、ひとの気持ち
が理解できず、上司と衝突した過
去などを語られました。苦しいこ
とはあったが、その中で、いい出
会いにめぐり逢い、人生を楽しく
過ごせてくれたこと、楽しむこと
に人生を生き抜くためのヒントが
あると強調されました。

後半では、「発達障がい者支援
に係る隠岐のいいところとこれか
らの課題」をテーマにパネルディ
スカッションが行われました。

コーディネーターに隠岐教育事
務所指導主事の角脇幸子氏、パネ
リストに、島根県ことばを育てる

が待っている所に、緊張気味の生
徒たちが入り、あっという間に生
徒たちは、大人の雰囲気になり込
まれそうになっていました。

今回、生徒は2人の大人と、大
人は1人の生徒と対話をしまし
た。対話をしていない大人は、大
人だけのトークタイムを行いました
た。対話はもちろん盛り上がりま
したが、大人のトークタイムも活
発に熱いトークが交わされ、周り
のスタッフも一緒になって盛り上
がりました。いつもと少し違った
実施方法を取り入れ、多くのご意
見もいただき、今後の魅力化事業
につなげられればと思います。
参加した生徒も大人もスタッフ
も、みんなが楽しみ笑顔の『つな
がらあや』でした。



親の会の池本佳葉子氏、東部発達
障がい支援センターウィッシュ相
談員の橋本賢一氏、講師のあーさ
氏を迎え、さまざまな立場から発
達障がいについて、活発な議論が
かわされました。隠岐のいいこ
ろについて、障がいの有無に関わ
らず困ったときは誰かが助けてく
れる「隠岐びとの心」を持った方
が多いということが挙げられまし
た。これからの課題については、
障がいへの理解が地域に浸透して
いないことや、町内では相談支援
チームはあるものの、相談件数が
増えており、すぐに対応できない
状況であることが挙げられまし
た。



左から 角脇氏 池本氏
橋本氏 あーさ氏

伝統芸能「狂言」 鑑賞会を開催しました



9月8日(木)、西郷小学校及
び有木小学校にて、伝統芸能「狂
言」の体験と鑑賞を行いました。
子どもたちは、「狂言」の面白
さやその歴史を学び、間近で迫力
ある狂言の演技を鑑賞しました。
講師のわかりやすい説明に加え、
実演の表情や発声の素晴らしさに
圧倒されました。

今後も我が国固有の文化芸術を
はじめ、音楽等、子どもたちが本
物の芸術に触れる機会を作ってい
きたいと感じました。



演目「柿山伏(かきやまぶし)」を鑑賞
能楽師和泉流狂言方 奥津 健太郎氏

ポーランド 波蘭新聞

28

ラチンスカ・イザベラ



風に舞う落ち葉とともに11月後
半になりました。ポーランドでは
この頃、そろそろ「アンジェイキ
(Andzejki)」という祭りの時期
になります。他の国に見られな
い、独特のポーランド文化ですの
で、今回はアンジェイキとその過
ごし方について紹介します。

アンジェイキの日は11月29日
です。過ごし方についてですが、こ
の日の夕方に将来を占う習慣があ
ります。その由来は不明ですが、
ポーランドではアンジェイキに当
たる時期は季節の変わり目になり
ます。秋の収穫は終わってもクリ
スマスはまだまだの不思議な「合
間の時」ですので、占いを通して
これからの出来事を垣間見るには
一番です。

では、アンジェイキの夕方、
ポーランド人がどうやって将来を
占うか、方法はいろいろありますが、
そのうち最も人気で代表的なの
は「ろうそく流し」という方法
です。まずは、溶かしたろうそく
を鍵の後端にあいた穴を通して水
に流し込みます。次に、水の中で



固まったらろうそくを取り出して、
その影を壁に映します。最後に、
ろうそくを回転しながら、映し出
される陰がどのような形をする
か、イマジネーションを働かせて
友だちと意見を交換します。陰に
見えた形は将来の出来事のヒント
であるからです。
数百年前は、未婚の女性が
いつ、どのような人のお嫁に行くか
をここのように占いました。現在
では、恋愛にとどまらず、また性
別や年齢を問わず誰でも将来のこ
とを同じ方法で占うのが一般的に
なっています。そして、アンジェ
イキの占いは重く受け止められる
ものではなく、あくまでも遊びで
す。占いの結果よりも、将来の秘
密を解いている時のワクワクする
気持ちを楽しみます。
アンジェイキの占いはポーラン
ド文化に根強く、多くの人は11月
29日頃にパーティーへ行つて、
「将来はこのようなもの(こと)
があるかも！」と遊びます。私も
今年このろうそく流しを楽しみにし
ています。

4 夏の思い出をみんなに 11 秋の収穫をみんなに
図書館だよい
隠岐の島町図書館
電話08512-2-2341 Fax08512-2-9198
●開館時間午前10時～午後6時 ●休館日(月曜日・第3日曜日)
※祝日が月曜と重なった場合は開館し、翌日は休館

作詞家・岡本おさみ展、トークイベントの開催

吉田拓郎の「旅の宿」「落陽」などの作詞で知られる、米子市出身の作詞家・岡本おさみさんの写真展とトーク&ミニコンサートを開催します。

○作詞家・岡本おさみ展
岡本さんが隠岐を含めた旅先で撮った写真やレコード盤、手紙などを展示コーナーで展示します。
12/1(木)～2/12(日)
○トーク&ミニコンサート
岡本氏の著書『旅に唄あり』(復刻版)の編集者、須田泰弘氏(山陰中央新報社)に、岡本さんとのエピソードなどをお話いただきます。また、町内の音楽グループの方に岡本さん作詞の名曲を歌っていただきます。12/3(土)14時～15時(研修室・雑誌コーナー)

「元気で過ごすために」 佐藤医師からのメッセージ

毎年11月14日は「世界糖尿病デー」として様々な地域で糖尿病に関する啓発活動が行われています。

今回の健康づくり通信は、五箇診療所所長であり、糖尿病専門医として本町・島根県だけでなく全国で糖尿病対策の推進にご活躍の佐藤利昭先生に元気で過ごすための秘訣をお聞きしました。



【まず隠岐の島町の印象は?】

隠岐は、自然の豊かさで厳しさを共に体験できる場所で、魅力満点です。

また、隠岐の方々の厚い人情と花を愛でる心にも癒されます。家々の花壇だけでなく、南方の黄水仙群、郡の石楠花園、水鳥公園の桜とつじ、心を打つ美しい広大な花々のパノラマが住民の皆さんの力で作られて、維持されていることに心から感銘を受けています。

【先生の専門、糖尿病管理で注意することは?】
糖尿病治療は血糖を下げることでだと思いがちですが、患者さんの状況に応じて下げすぎない注意も必要です。



図1に血糖コントロールの基準を示しましたが、糖尿病治療は画一的に行うものではなく、患者さん一人ひとりの状況に応じて行うものです。特に高齢の方は、低血糖への十分な注意・配慮が必要です。太っている患者さんには多少痩せていただく必要がありますが、痩せている方は、更に痩せることは必要ありません。

●一般的血糖コントロールHbA1c目標値 (図1-1)

	血糖正常化	合併症予防	治療強化が困難な場合
HbA1c(%)	6.0未満	7.0未満	8.0未満

●高齢者での血糖コントロールHbA1c目標値 (図1-2)

カテゴリー	認知機能正常かつ日常生活動作自立		
カテゴリーⅠ	認知機能正常かつ日常生活動作自立		
カテゴリーⅡ	軽度認知障害または、日常生活動作軽度低下		
カテゴリーⅢ	中等度以上の認知症または日常生活動作低下または多くの併存疾患や機能障害等		
	カテゴリーⅠ	カテゴリーⅡ	カテゴリーⅢ
薬剤*1なし	7.0%未満	7.0%未満	8.0%未満
薬剤*1あり	65歳~74歳	75歳以上	
	7.5%未満 下限6.5%	8.0%未満 下限7.0%	8.0%未満 下限7.0% 8.5%未満 下限7.5%

*1 重症低血糖が危惧される薬剤 (インスリン製剤、SU剤、グリニド剤等)

元気が無くなっていくことをフレイル(虚弱化)と呼びますが、フレイルの3要素として、筋力低下や運動器機能の低下等の「身体的フレイル」、うつや認知機能低下などの「心理的・認知的フレイル」、閉じこもり、独居、困窮、孤食などの「社会的フレイル」が上げられます。元気に老いるための重要項目は、栄養、身体活動、社会参加です。栄養では食・口腔機能が重要で、たんぱく質をバランス良く摂ること、歯科口腔の定期的管理が必要です。身体活動では運動・社会活動が重要で、歩行や筋トレが必要です。

社会とのつながりが希薄になることがフレイルの始まりです。社会参加は就労・余暇活動・ボランティアなどで、友人つきあいや前向きな社会参加が重要で、コロナ禍で崩壊しつつある地域コミュニティの再構築・活動再開が急務です。

お問い合わせ先
役場保健福祉課 健康係
電話 2-8562



戸籍 コーナー	
<p>【誕生】</p> <p>(氏名) (地区) (保護者)</p> <p>石橋 怜 (城北町) 石橋 拓也 三角 菜知 (栄町) 三角 一伸 齋藤 心乃 (原田) 齋藤 祐樹 岩本 いぶき (西町) 岩本 拓 佐竹 莉依 (原田) 佐竹 勇人 吉田 凛乃 (郡) 吉田 佑樹 要戸 こまち (中町) 要戸 勝博 山川 凛太郎 (西町) 山川 浩二</p>	<p>【結婚】</p> <p>(氏名) (地区)</p> <p>夫 秋山 達哉 (下西) 妻 野田 雅美 (和歌山市)</p>
<p>【おへやち】</p> <p>(氏名) (地区) (年齢)</p> <p>田丸 タミ子 (西村) 85歳 浜崎 寅躬 (有木) 96歳 大谷 マサエ (南方) 88歳 村上 タケ (東郷) 96歳 松下 高子 (港町) 87歳 新井 重男 (中村) 81歳 藤木 玲子 (油井) 90歳 長田 弘幸 (北方) 78歳 野津 宮子 (加茂) 84歳 小笹 ヨリ子 (栄町) 91歳 正木 美千代 (大久) 68歳 藤田 英夫 (犬来) 89歳 藤田 オトメ (加茂) 99歳 中尾 ユキコ (港町) 91歳 齋藤 正規 (都万) 57歳</p>	<p>※10月31日までの受付分(敬称略)</p>

2023年版 好評発売中

ダイアリー・手帳・カレンダー

Culture Spot はっとり

TEL:2-0092 FAX:2-0413 (日曜日定休)

保険の無料相談受付中!

並べて・比べて・選ぶ 保険 / オリジナルの保険比較サービスとプロのサポートであなたにぴったりの保険選び

全国に約240店舗

保険クリニック 隠岐の島店

08512-3-1240

各種ご宴会・ご法要・お食事会など心を込めて承ります

秋の折膳・お弁当各種配達承ります

島根プレミアム商品券、ジョイメイト等ご利用できます

コロナウイルス感染防止対策完備 安全・安心にご利用いただけます

島根県新型コロナ対策認証店

ホテル海音里・レストラン海音里

TEL 5-3211

L-modextocotoconail リモード×トコトコネイル

cutのみ ¥2,400~ ジェルネイル ¥6,050~

cut ¥3,800 短期間ジェル ¥3,300~

(顔ソリ・シャンプー込み) マニキュア ¥3,300~

color ¥4,000~ ケアメニュー ¥3,300~

tel 080-1946-2883 tel 080-5758-1652

〒685-0104 隠岐の島町都万 2329-6

お魚センター

フィッシャーマンズワーフ隠岐 毎日が朝市!

【1Fショップ】 西郷巻き網のお魚 漁港直送!

【2Fレストラン】 忘年会 新年会 予約承ります!!

電話 2-6600

忘年会・新年会予約承ります

料亭 末広 和風ダイニング 真心庵

電話 2-0014

隠岐の島町行事予定 12月

1日 木	
2日 金	
3日 土	岡本おさみ「旅に唄あり」トーク&ミニコンサート 14:00~15:00(図書館)
4日 日	はじめてのえほん 10:30~11:00(図書館) イザベラと行くバーチャルポーランド旅行 14:00~15:30(図書館) 布施の手づくり文化祭 11:00~14:00(布施公民館)
5日 月	布施の手づくり文化祭 11:00~14:00(布施公民館)
6日 火	布施の手づくり文化祭 11:00~14:00(布施公民館)
7日 水	年金相談 13:00~16:00(役場本庁301会議室)
8日 木	年金相談 9:00~11:30(役場本庁301会議室)
9日 金	
10日 土	隠岐アゴラ 14:00~(図書館) 布施イルミネーション 1月7日まで(布施公民館)
11日 日	はじめてのえほん 10:30~11:00(図書館)
12日 月	納付金時間外窓口 17:15~19:00
13日 火	
14日 水	
15日 木	
16日 金	
17日 土	新型コロナワクチン集団接種(町民ホール) クリスマス会 15:00~16:00(図書館)
18日 日	新型コロナワクチン集団接種(町民ホール) マイナンバーカード休日窓口 9:00~17:00(役場町民課)
19日 月	食育の日
20日 火	
21日 水	
22日 木	
23日 金	
24日 土	
25日 日	新型コロナワクチン集団接種(町民ホール) はじめてのえほん 10:30~11:00(図書館)
26日 月	納付金時間外窓口 17:15~19:00
27日 火	
28日 水	官公庁仕事納め 年末年始休館 12/28~1/4 13:00まで(図書館)
29日 木	
30日 金	
31日 土	

※上記の催しは、新型コロナウイルス感染症の発生状況によっては変更となる場合があります。

Happy Birthday

12月 生まれのおともだち

2歳

角崎 すずちゃん (原町)
よく食べる、よく寝るすずさん!
おめでとう♡

2歳

岩本 あさひちゃん (西町)
マイベースあちゃび♡
だいすき♡

2歳

すずの
石川 鈴乃ちゃん (蛸木)
おてんば鈴ちゃん、いつも
笑顔をありがとう!

3歳

みなほ
三橋 実穂くん (栄町)
最高の笑顔にメロメロ♡
幸せをありがとう♪

3歳

おと
村上 桜冬ちゃん (有木)
お絵描きと歌が大好き^_^
3歳おめでとう♡♡

3歳

ゆいか
芳野 由佳ちゃん (下西)
ゆいゆい~!
3歳おめでとう♡♡

12月生まれの1~3歳になる

お子さんを募集しています!

「広報隠岐の島」に、お子さんの写真を掲載しませんか?

12月2日(金)
締切

【応募方法】以下の項目を明記し、お申込み下さい。

- ①お子さんの氏名(ふりがな) ②年齢 ③性別 ④住所
- ⑤保護者氏名 ⑥電話番号 ⑦メッセージ(20字以内)

■お申込み・お問い合わせ先

役場総務課広報広聴係 電話 2-8572
jouhou@town.okinoshima.shimane.jp



QRコード

【お詫びと訂正】

広報「隠岐の島」11月号P11「戸籍コーナー」のご誕生欄の記載に誤りがありましたので、下記のとおりお詫びして訂正いたします。

【誤】磯部 直哉

【正】磯辺 直哉



人口と世帯数

令和4年11月1日現在
()は先月との比較

人口	13,603(-8)人
男	6,659(±0)人
女	6,944(-8)人
世帯数	7,071(-6)世帯

15歳未満人口 1,513人《11.1%》
65歳以上人口 5,635人《41.4%》
○増 転入 26 出生 8 その他 1
○減 転出 20 死亡 23 その他 0

▼オミクロン株対応のコロナワクチン接種が始まっています。WEBやLINEからも予約が可能となり、スマホをお持ちの方は予約や変更・キャンセルが簡単に行えるようになりました。私はWEBから予約をしましたが、LINEでもログインすれば予約内容や、自分の今までの接種情報が確認でき、便利さを実感しました。▼今は色々な所でスマホアプリと連動している事が多く、便利な反面、情報過多になる事もあるので、上手に使っていきたいと思います。

(H・K)

▼朝晩と肌寒くなり、とうとう冬が近づいてきたなと感じられる日々が続いています。気象庁の3か月予報によると、今年はラニーニャ現象の影響で「寒い冬」になる見込みとなっており、今年よりも寒い冬になる可能性があります。▼日本海側では雪や雨が降る日が増えるということなので、私自身もできるだけ早い冬支度をしていきたいと思っています。▼まず、手始めとして、車のタイヤ交換、家の防寒対策を行って、いつ雪が降ってもいいように準備して、寒い冬を乗り切りたいと思います。

(J・K)

編集後記